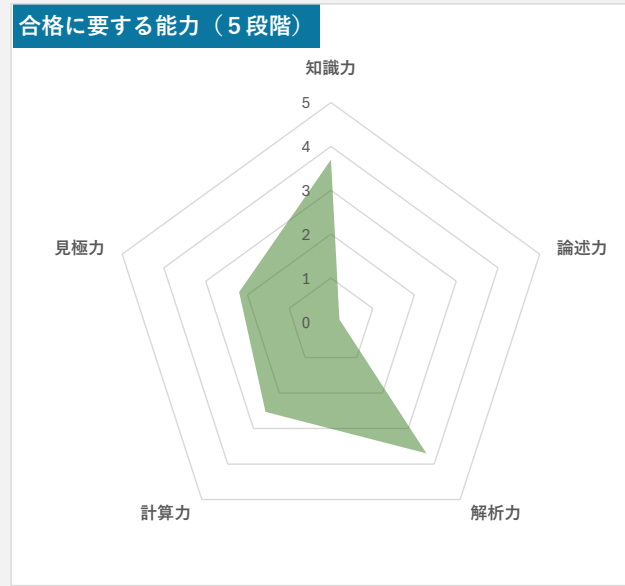


総合分析

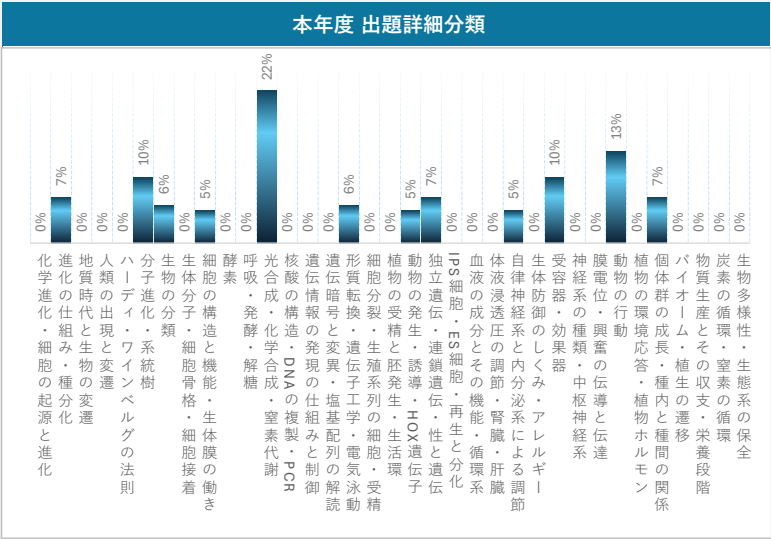
試験区分	一般（後期）
制限時間	45分（理科2科90分）
大問数	全3問



出題分野	
系統と進化	22%
生命現象と物質	27%
遺伝子	6%
生殖と発生	11%
生物の環境応答	28%
生態	7%

本年度 解答形式
選択肢 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	カルビン回路，大腸菌がもつ代謝経路
第2問	視物質の分子系統樹，視細胞のリン酸化の違い
第3問	ショウジョウバエにおける負の頻度依存選択



合格に要する能力（5段階）		
知識力	3.5	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.5	図表データなどから分析・解析する力
計算力	2.3	式を組み立て，正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し，適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価					
難度	2.3	最難を5とする問題自体の難度	やや易しい	一次合格に必要な正答率（予想）	88%
分量	35分	完答に要する時間（制限時間は45分）	やや少ない	極めて高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	標準的なバランスのよい問題で，高校での学習で十分に対応できる。
入試から見る大学が求める学生像	埼玉医科大学後期日程は出題分野に偏りがいないことが特徴である。また，共通テストのような「情報を処理して答えを導き出す」問題が多く出題されている。知識問題は標準レベルなので確実に得点し，考察問題でいかにミスをなくし得点するかが合格のポイントであろう。